

1. 件名

日本原燃株式会社第二種廃棄物埋設事業変更許可申請に係る新規制基準への適合確認に関するヒアリング（65）

2. 日時

令和2年10月26日（月）10時30分～11時00分

3. 場所

原子力規制庁 10階会議室（TV会議により実施）

4. 出席者

原子力規制庁：

原子力規制部 審査グループ 核燃料施設審査部門

志間企画調整官、金岡上席安全審査官、菅生主任安全審査官、松田安全審査官、鈴木安全審査専門職

日本原燃株式会社：

開発設計部長、他10名

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しているため、誤りを含む場合があります。

6. 配布資料

資料1 審査方針を踏まえた生活環境の状態設定について

資料2 第371回審査会合コメントへの回答

参考資料 廃棄物埋設施設 前回の審査会合等における主な論点と対応について

以上

時間	自動文字起こし結果
0:00:01	定刻となりましたので、
0:00:04	日本原燃株式会社廃棄物埋設施設の事業変更許可申請についてのヒアリングを始めたいと思います。
0:00:14	規制庁の鈴木でした。
0:00:18	はい。
0:00:30	はい。
0:00:32	今回は
0:00:34	次回の審査会合についての
0:00:37	コメントとしまして、今からの資料 1 について、
0:00:42	お話しします。
0:00:46	はい。
0:00:50	規制庁の十河です。
0:00:53	超えてますでしょうか。
0:00:58	日本原燃でございます。聞こえて温泉つきというております。はい、すいません、資料 1 ページにつきまして、本日お使いにないんですけれども、大塚からコメント扱ってますので、ちょっと
0:01:14	お伝えいたします。
0:01:15	まず初めに、2 ページ目のですね。
0:01:20	散歩つつうの。
0:01:22	行目、なお以降に記載じゃありませんけれども、
0:01:28	その以下に示すと系統にはなってそのあとですね、ある時点から講師の内または線量評価結果に大きな影響のないと
0:01:41	ありますけれども、その以下に示すパラメーターとかIVのうちですね、この方針のないものとした線量評価結果に大きな一歩のないものっていうのを、
0:01:54	ちょっとどれがそれにあたるのか資料上明記をしていただけますでしょうか。
0:02:07	日本原燃のコザワでございます。
0:02:12	ご意見のほうは承知いたしました、
0:02:17	基本的に
0:02:20	どこの時点を下げてさ現在とするかによりますけれども、
0:02:27	2000 円。
0:02:29	わかりま 2020 年を現在としてTにはですね、
0:02:38	年代が古い文献は基本的にはそういうものはもうほぼしないものというふうに考えています礫層それぞれここで挙げた運転員がどれに該当するかというのはあるというふうに思います。

0:02:56	はい。
0:02:57	はい。
0:02:58	よろしくお願いします。
0:03:00	それから二つ目ですか。その下の
0:03:05	(1)の一つ目の行使も沢水の飲用井戸水飲用の中の
0:03:10	病名ですね資生堂の実績年間取水量はスピーチ周辺街の取水説明を受ける か性が100%を占めておるといふふうに記載しましてますけれども、
0:03:26	ちょっと大塚のほうから、従来の説明では被覆管移動からの取水だったんじゃないかというコメントをもらってるんですけど、
0:03:35	事実関係として、
0:03:37	やっぱりますか。
0:03:41	日本原燃のコザワでございます。回動からの説明になります。それでちょっと ファーマ地下水ということで、それを意味しているといふふうに思ってるのかの 記載のほうは追記させていただきます。よろしくお願いします。
0:04:00	それは、
0:04:02	どうしてももう
0:04:05	尾駮沼または河川水中の水産物の摂取のところで、ちょっとこれ記載だけの 話だと思うんですけど。
0:04:15	1行目で尾駮沼においては、例えば作業等が時敷設されておりまして、次に指 針が出てくるんで。
0:04:25	何か
0:04:26	漁獲されてないようなものがここに含まれるとは思うんですけど、左に地震が 出てくるんで、
0:04:35	そこら辺ちょっとわかるように採用してもらっていいです。後ろの中抄見ると、 地震も出てくるんですけども、ここに記載がですね、ここはちょっと出てこな いんで。
0:04:47	ということをわかるようにしていただければと思います。
0:04:52	日本原燃のコザワでございます。お聞きいたしました
0:04:57	人死んだのはなぜ若狭湾に浸透ということで、
0:05:03	等の中に地震が含まれてる精神はそのあとで説明してますので、地震が含ま れるような記載。
0:05:10	思います。よろしくお願いします。
0:05:14	鈴木委員にですねページ目の一番下ですね、これも前回は指摘させていただ いて、
0:05:25	そういう時はいただいているんですけども、

0:05:28	その沢水を利用して生産される畜産物の摂取の中で、
0:05:34	当町水位いただいてるんですけど、その御社が実施した調査によれば、
0:05:41	かつ不溶性ガスが主に水素水道であり、
0:05:45	ていうのちょっと言葉だけなので、実際ちょっともう少し点数を
0:05:53	記載してもらえますでしょうか。
0:05:58	尊厳補佐でございますようにいたしました。
0:06:03	エビデンスということですけども当社が実施した調査。
0:06:08	ですので、ちょっと知波田はいたしますが、基本的には 100%
0:06:15	上水道であるということぐらい調査範囲のところを調査してっていう。そのあたりをちょっとさせていただきます。
0:06:26	続きましてその次の 3 ページ目のその次の行ですね。
0:06:33	上水道の日修正区域においては、小規模水道または地下水が利用されているものというふうにあります
0:06:43	この商品の制度をまた地下水というのがサイドではないっていうことを
0:06:49	ちょっと明記してもらってよろしいですか。
0:06:59	日本原燃のコザワでございます。
0:07:02	また斎藤かどうかってのちょっと確認いたします経営サイドではない場合はサイトではないというふうに記載いたします。
0:07:15	確認いたします。はい。お願いします。
0:07:18	続きまして、4 ページですね。
0:07:23	4 ページの
0:07:26	はい。
0:07:31	上から二つ目のポツの廃棄物埋設地を利用して生産されるのほうの食物の摂取っていうことで、被ばく経路で農作物を摂取について記載されてるんですけども、
0:07:47	農耕作業による被ばくというのものもあるんじゃないかと思ひまして、考慮しているんであれば、記載をお願いします。
0:08:06	日本原燃のコザワでございます。
0:08:09	こちらの枚設置を利用して生産されるのほうの産物でございます、
0:08:17	今日埋設につきましては、
0:08:22	土壌が汚染されてるかどうかっていうことになるんですけども、
0:08:27	農耕作業による掘削新聞っていうのは、
0:08:36	一般教授一般住宅の建設で想定するような 3m というような施策はございませんので、基本的には、

0:08:43	農耕地として利用する場合には表面の汚染土壌は汚染していないというふうに考えてございます。したがって農耕作業による被ばくというのは考えてございます。ただ
0:08:56	農産物自体が下の地下水汚染された地下水、
0:09:01	そう。
0:09:02	目から吸収するということを想定して評価してございますので、ここでは障防法作業は、
0:09:10	想定してございません。まあそういったところがわかるように少し記載をさせていただきますと、やっぱりすいませんありがとうございました。よろしくお願いいたします。
0:09:20	これからですね。
0:09:23	ちょっと込んでいただいて7ページですね。
0:09:31	7ページの(1)で生活様式に関連する評価パラメーターの設定の考え方の中で、
0:09:39	一つのポツで利用可能な系統に基づき設計することが可能な評価パラメーターとして資料希釈スペースも入ってるんですけども、資料記者Q数は
0:09:57	あれですね、
0:10:01	例えば漁業従事者でない人の方はデータで設計していると思うんですけど。
0:10:07	漁業従事者の生産物の試料希釈形成みたいな統計等がないのかなと思うんですけど。
0:10:16	この括弧でこう入っていると、利用可能な系統に基づいて設定しているのかなっていうすべてがですね、思うんで。
0:10:26	ちょっとそこら辺を工夫してもらってよろしいでしょうか。
0:10:34	日本原燃のコザワでございます。
0:10:37	自家消費されているというのが統計データかどうかということだと思いますが、我々はその自家消費されているというのも重要な統計データというふうに
0:10:50	考えて考慮記載をしてございますが、
0:10:54	あくまでデータテープであれば、ご指摘の通り、
0:10:59	実際のところで使っておりますページのほうは、
0:11:06	できて修正したい。
0:11:09	はい。
0:11:12	今のに関連しているかですね、例えばその10ページにある、この農作物の市場希釈係数のところの設定の考え方の3パラ目で、

0:11:25	農業従事者は生産者の作物と自家消費するものと想定されるが、家消費の割合をOK等に基づいて設計することが困難であること。
0:11:35	から、
0:11:37	こちらではやっぱり統計等を設定しづらいというふうに記載してるんで。
0:11:45	今のコザワさんの説明だと
0:11:48	それも含めて、統計っていうようなことをおっしゃってたんですけども、やっぱりちょっと合わないような気がするんで、ここはちょっとわかるように記載をお願いします。
0:12:01	日本原燃のことでございます承知いたしましたと少しおっしゃる通り、ヘキサン整合があります経営まで自家消費は別決議ということで整理いたします。
0:12:17	ちょっとすみません
0:12:20	今のに関連して申し訳ないんですけども、
0:12:24	9 ページの漁業従事者の
0:12:29	要はですね、
0:12:32	漁業従事者は漁獲物の一部を自家消費としていることから設定は現実的に飛行する。
0:12:41	なってまして先ほどの農業従事者、アートですねちょっとやっぱり記載が、
0:12:47	まざってないなっていうところと、
0:12:51	先週の我々の審査方針を踏まえて
0:12:59	これをお願いというか、我々のほうから言ってるのが、
0:13:09	系統に基づいて設計することが困難なものであっても、最も可能性の高い自然事象シナリオは影響評価パラメーターの特性を踏まえて現実的と考えられる値を用いることを原則とすることというふうになってますんで。
0:13:29	その統計に基づいて設定することが困難だからいきなり現実的に道っていう説明よりはですね。
0:13:37	こんなん。
0:13:40	かつ、何かこう、
0:13:42	何社 1 にするんであれば、その現実的な
0:13:48	パラメーターの特性を踏まえて現実的に考えられる値っていうのもなんかちょっと設計できないんだっていう思う。
0:13:56	一つ理由が必要かなと思ってまして、
0:14:00	もうちょっと
0:14:02	記載いただけますでしょうか。
0:14:09	日本原燃小澤でございます。
0:14:12	D棟、

0:14:14	前回、もうお答えしましたけども
0:14:19	やはり自家消費されてるっていう事情を踏まえてということになりますが、
0:14:26	じゃあ、どれぐらい
0:14:28	というのがなかなか設定が難しいということを
0:14:33	もう少し確認と、現実的についでいうことで、ちょっと設定できない。
0:14:40	理由を少し追記させていただきます。
0:14:44	はい、よろしく申し上げます。
0:14:47	それから、
0:14:50	これも再最後なんですけれども、
0:14:54	11 ページで、
0:14:58	結局、この線量評価のキャッシュから手法の変更電光ですね。
0:15:07	結局重畳した数値が大体 10 分の 1 ぐらい。
0:15:13	減っているということになるんですけれども、
0:15:17	はい。
0:15:18	これは何が結局沢水とか、
0:15:23	さはみずからの下の 10%を設定してたのがなくなったっていうあれが一番効いてるっていう理解でよろしいですか。
0:15:34	日本原燃増でございます。
0:15:36	一番大きいのはですね、対象者居住者にしたということで、居住者はですね接する建物すべて市場希釈。
0:15:49	非常に流通したものを立てるということで、
0:15:57	特に今の被ばく経路で大きい割合を占めているのは漁業の水産物の摂取になりますのでその線量が、
0:16:06	非常希釈を考慮することで、1 桁下がるということでその企業が一番いいです。ご指摘のあったように沢水野委員の程度を除いたっていうのも、
0:16:20	汚染量としては、この点、それ居住者の
0:16:24	全量を比較していただくと、
0:16:28	例えば 1 号ですと 0.3 マイクロこれが大体、変更後で、
0:16:34	1.90. 0.2 で約 0.2 マイクロになってる部分は
0:16:42	井戸の利用が予定で沢水野いようと畜産別の
0:16:49	議論を除いた部分で下がって、
0:16:54	うん。
0:16:55	重畳線量が 1 桁下がったのは漁業従事者の線量で代表したものを
0:17:02	居住者の線量にしたっていうことで、
0:17:07	わかりました。

0:17:09	承知しました。はい。
0:17:12	えっとですね。
0:17:13	資料 1 の
0:17:16	大塚からもらっているコメントは以上です。
0:17:22	あります。
0:17:28	はい。
0:17:39	はい。
0:17:54	はい。
0:17:57	規制庁の鈴木です。
0:17:59	まず資料 1 について何か。
0:18:05	ありますでしょうか。意見等ありますでしょうか。
0:18:13	人間のコザワでございます。特に湖面追加の確認事項はございません。今日、
0:18:20	今いただいた。
0:18:23	コメントのほうは資料のほうに反映して明日お出しできるように準備いたします。
0:18:31	はい。
0:18:32	はい。
0:18:35	すいません資料 1 に関して規制庁の嶋ですけれども、
0:18:40	7 ページの
0:18:42	独法 II で生活関連する評価パラメーターの設定の考え方。
0:18:48	(1) で
0:18:51	一般的な考え方を示していただいておりますけれども、そして
0:19:01	第 5 表に
0:19:05	規制委員会で掲げました。当県に基づいて策定することが困難なパラメーターについての考え方が、
0:19:13	示されていますけれども、これ以外の
0:19:19	第 5 表にも思ってるんですね、パラメーター以外、
0:19:23	生活様式に関連する評価パラメーターと。
0:19:27	というのは、6 ポツの(1)に沿って、
0:19:31	確からしい自然事象シナリオ等、
0:19:35	最も厳しい事象シナリオで、
0:19:39	別々のものが設定されぬようになったという理解でよろしいでしょうか。
0:19:45	はい。
0:19:50	日本原燃のコザワでございます。

0:19:52	表示法おつけしてございませんが基本的には
0:19:59	これまでと同じ確からしい自然事象シナリオと選定して使い分けているパラメータは、
0:20:09	生活に関しては、
0:20:15	今のもう
0:20:20	それでは
0:20:21	えーとですね。
0:20:23	二つ目のポチに記載してございますように、
0:20:28	統計等で、
0:20:29	決定することがササキということで、これらについては、いずれも高と言うとその厳しいシナリオで考えているような考え方。
0:20:41	設定していると確からしい。
0:20:45	最も可能性の高い人でも、
0:20:48	どちらかと言うと厳しいシナリオの考え方に従った設定に
0:20:53	なっていると。
0:20:55	なります。そういう意味ではちょっと
0:20:57	現実的な結果ですね。
0:21:01	こちらも、
0:21:02	保守性を持った設定にしているとあります。
0:21:06	その辺りちょっと、
0:21:08	言葉であるから、或いは、
0:21:11	今日で
0:21:13	花粉のデータっていう形にしたいというふうには思います。
0:21:20	各科分なんですけれども、今回の審査方針を踏まえて、
0:21:25	第5表に書かれているもののパラメーター以外で
0:21:32	確からしい自然事象シナリオ等を最も厳しい自然事象シナリオでパラメーターを分けたというものっていうのはあるんです。
0:21:46	日本原燃のことは基本的には減った分は、
0:21:51	ございません。
0:21:55	すべての第5表に関するパラメーター以外のものについても、確からしい自然事象シナリオに設定する。パラメーターについて現実的な
0:22:09	ものが設定できるかどうかって考えたんだけどそれが無理だったから、保守的なものを設定したというお考えですって考え方ということでよろしいでしょうか。

0:22:23	日本原燃のコザワでございます。今おっしゃっていただいた考え方で決定して ございます。
0:22:30	承知しました。
0:22:33	うん。
0:22:40	はい。
0:22:42	はい。
0:23:07	はい。
0:23:08	規制庁の鈴木です。
0:23:12	資料について、
0:23:15	これらの説明とかの確認とか、何かありますでしょうか。
0:23:29	日本原燃のコザワでございます。資料に、
0:23:33	基盤しては、
0:23:36	こちらからすることはございませんけどあの資料の体裁としましてはコメントへ の回答という形で作成いたしましたので、特に前回は受けられましたコメント内 容自体が問題ないかっていうところと、
0:23:53	あと試料を設置して前にその回答も含めて、一つの資料としまして、その点に ついて何か御指摘があれば、フィルタと思います。
0:24:05	それ以外は特段、
0:24:07	一般の内容自体はもうすでに決定した内容になってると。
0:24:14	資料の構成、或いはその質問のコメント内容があってるかどうかというのは、
0:24:26	規制庁の鈴木です。資料 2 の
0:24:31	掲載とかコメント内容はこれで結構ですので、
0:24:36	はい。
0:24:37	はい。
0:24:38	こちらからは以上ですが、そちらから何かありますでしょうか。
0:24:46	日本原燃のコザワでございます。
0:24:48	特に、資料 1-2 に関しましては、
0:24:52	こちらからのご意見追加の確認事項はございません。
0:24:57	どうぞ。はい。
0:24:59	規制庁の鈴木です。では、本日のヒアリングをこれで終了したいと思います。 ありがとうございました。
0:25:09	ありがとうございました。